



TITLE:

故鎌倉昇教授著作目録

AUTHOR(S):

経済学会

CITATION:

経済学会. 故鎌倉昇教授著作目録. 経済論叢 1969, 104(3): 218-226

ISSUE DATE:

1969-09

URL:

<https://doi.org/10.14989/133358>

RIGHT:

經濟論叢

第104卷 第3号

哀 辞

故鎌倉 昇教授遺影および原稿

経営戦略について……………	田 杉 競	1
ニュースと「企業性」の接点……………	島 崎 憲 一	23
フィスカル・ポリシーと完全雇用……………	森 岡 孝 二	41

記 事

鎌倉教授逝く

追 悼 講 演 (石川常雄・市村真一・堀江保蔵)

追 憶 談 (杉浦一平・吉田進・西村理・引馬滋)

故鎌倉昇教授略歴・著作目録

昭和44年 9 月

京 都 大 學 經 濟 學 會

故鎌倉 昇教授 著作目録

著 書

国民所得と資源(市村真一共著)	弘 文 堂	昭和26年(1951) 9 月
経済成長と計画編成	有 斐 閣	昭和33年(1958) 4 月
価格・競争・独占	創 文 社	昭和33年(1958) 9 月
金融経済の構造	創 文 社	昭和34年(1959) 7 月
日本経済論	有 斐 閣	昭和40年(1965) 4 月
株入門(講談社現代新書)	講 談 社	昭和40年(1965) 5 月
消費者ローン(中公新書)	中央公論社	昭和41年(1966) 5 月
現代企業論	筑 摩 書 房	昭和41年(1966) 6 月
社会人のための近代経済学	日本経済新聞社	昭和42年(1967) 3 月
再編成期の企業戦略	実業之日本社	昭和43年(1968) 6 月
日本の金融政策	東洋経済新報社	昭和44年(1969)10月

編 著

金融論選集 XI	金 融 学 会	昭和39年(1961)10月
演習近代経済学 全3巻(篠原三代平共編)	有 斐 閣	昭和39年(1961)
金融経済講座 全4巻(館龍一郎共編)	東洋経済新報社	昭和43年(1968)
名著で考える現代の産業社会(武山泰雄共編)	ダイヤモンド社	昭和44年(1969) 6 月

論 文

見返資金についての一註解	季刊理論経済学	第2巻第1号	昭和26年(1951) 1 月
利子・所得及び雇用	経 済 論 叢	第67巻第6号	6 月
有効需要と雇用—非有意的失業 についての一考察—	経 済 論 叢	第69巻第2号	昭和27年(1952) 2 月
我国国民経済計算表の分析—社会 会計の適用とその限界—	季刊理論経済学	第3巻第2号	4 月
シュンペーターの資本主義論	経 済 論 叢	第71巻第5号	昭和28年(1953) 5 月
非有意的失業と経済システムの 過剰決定	経 済 論 叢	第72巻第2号	8 月
Involuntary Unemployment explained by Over-determinateness The Kyoto University Economic Review Vol. 23, No. 2.			10月

会計学と経済学との交渉	経済論叢	第73巻第2号	昭和29年(1954) 2月
企業利益の測定と貨幣価値不変の仮定	経済論叢	第74巻第1号	7月
Relative Efficiency of the Two Different Methods of Instrumental Variables	Technical Report No. 33		昭和31年(1956) 6月
経済成長とインフレーションギャップ—産業連関分析の一応用—	経済論叢	第80巻第3号	昭和32年(1957) 9月
アメリカの消費信用一月賦制度を中心として—	銀行研究	第308号	10月
証券市場における資金吸収	インヴェストメント	第11巻第2号	昭和33年(1958) 3月
アメリカの証券金融	経済論叢	第81巻第3号	3月
証券資金と産業資金—いわゆる Absorption Theory について—	経済研究	第9巻第2号	4月
日本の国民所得分析	経済評論	第7巻第6号	6月
アメリカの住宅金融	バンキング	第123号	6月
オプションと逆指値—アメリカの証券投機—	経済論叢	第82巻第1号	7月
日本の金融政策の特質	バンキング	第128号	11月
在庫と金融—一條原教授の所説によせて—	福島大学商学論集	第27巻第4号	昭和34年(1959) 3月
外部節約について—経済成長の側面—	経済論叢	第83巻第3号	3月
利子理論におけるストック分析	金融経済	第55号	4月
ヨーロッパ共同市場の諸問題	調査時報(伊藤忠)	No. 114	5月
管理通貨制度の機能とその運用	経済評論	第8巻第5号	5月
実物的利子理論と貨幣的利子理論—利子理論の理解のために—	京都大学経済学部創立40周年記念経済学論集		5月
発券制度について	バンキング	第135号	6月
巨大企業の価格政策	東洋経済	秋季号	9月
金融資産の蓄積とその効果	金融学会報告		9月
コストインフレの暗い影	経済セミナー	No. 37	10月
アメリカの経済学界	経済セミナー	No. 39	12月
「這いよるデフレ」の危険—アメリカ経済のはらむ問題—	経済評論	第9巻第7号	昭和35年(1960) 6月
寡占の成立とインフレーション	東洋経済	夏季号	6月
宮崎義一氏に答える	経済評論		7月

大統領選挙と政策論争—ニューヨーク通信—	経済セミナー	No. 50	10月
Availability of Finance in the Industrial Economies	Problems and Policies	昭和36年(1961)	1月
			2月
ドル防衛政策と米国経済	東洋経済	春季号	3月
国際経済	近代経済学講座	第1巻第9章	5月
日本経済分析と経済学	経済セミナー	No. 58	6月
最近のアメリカ景気動向—ニューヨーク経済通信—	株式短評	第982号	9月
需要と供給	近代経済学講座	第3巻第4章	9月
ヨーロッパ共同市場の将来	株式短評	第986号	11月
アメリカ貿易政策の動向	株式短評	第989号	昭和37年(1962) 1月
金融政策の功罪	経済セミナー	No. 73	8月
E. E. C. の教訓	株式短評	第1005号	9月
貧困の悪循環	株式短評	第1006号	10月
世界貿易の変容	中央公論	秋季号	10月
インフレのかけに「はいよるデフレ」	エコノミスト	第40巻	10月
企業集中の傾向と金融機関	金融ジャーナル	第3巻第11号	11月
経済成長と金融	バンキング	第178号	昭和38年(1963) 1月
停滞の色濃い世界経済	工業	No. 180	1月
金融支配の実態	中央公論	第78巻第3号	3月
経済的後進国における輸出の不安定度	(一橋大学)経済研究	第14巻第2号	4月
経済成長と企業の資本構成	バンキング	第181号	4月
日本経済に於る輸出の課題	中央公論	特大号	5月
アベイラビリティ理論の再検討	金融学会報告	XVII	5月
わが国の金融政策	Chamber	No. 6	6月
後進国貿易の停滞性	東南アジア研究	第1号	7月
日本経済はインフレ体質か	自由	第5巻第8号	8月
転換期に生きる企業	第1回関西財界	セミナー記録	8月
金融支配の実態	中央公論	第79巻第3号	昭和39年(1964) 3月
金融政策で価格上昇を阻止しうるか	経済セミナー	No. 95	5月
日本証券市場の現実	中央公論	第79巻第6号	6月

プライスリーダーシップとは何か	演習近代経済学	2	6月
価格形成における予想の役割について	演習近代経済学	2	6月
先物価格と現物価格について	演習近代経済学	2	6月
流通革命とは何か	演習近代経済学	3	6月
物価と国際収支	経済セミナー	No. 97	7月
現代の金融政策	経済政策講座3 第5章		7月
成長金融にひそむ非合理性	東洋経済	No. 3193	10月
市場構造の変化とマーケティング	放送朝日	第126号	11月
転換を迫られる金融政策	中央公論	第79巻第12号	12月
国民経済計算	金融経済基礎コース	No. 8, 9	昭和40年(1965)
転機にきた証券界	証券マンスリー	第173号	1月
繊維新法下の繊維産業の展望	染色研究	第9巻第1号	1月
公社債市場自由の契機	バンキング	第203号	2月
社会資本の充実と貯蓄	貯蓄時報	No. 63	3月
銀行は本来の機能を回復せよ	中央公論	第80巻第6号	6月
氷山の一角・山一証券問題に思う	東洋経済		6月
日本の金融市場	第10回都市銀行研集会講義集		7月
経済白書の効用と限界	エコノミスト	第43巻	8月
公債発行の前提	中央公論	第80巻第9号	9月
難かしい高成長の再現	エコノミスト	第43巻	10月
金融政策の限界	住友銀行経済月報	No. 200	10月
ペルユーイの効用指標—選択理論の最近における発展(1)—	経済論叢	第96巻第6号	12月
景気回復は楽観できない—私のみる日本経済の体質—	実業の日本	第68巻第23号	12月
日本経済の現状と展望	静岡経済研究所経済月報	No. 35	昭和41年(1966) 1月
金利自由化の展開方向	経済セミナー	No. 116	1月
流通革命	自己啓発	1	1月
不況カルテルと大企業の姿勢	中央公論	特大号	2月
私鉄運賃の値上り	婦人公論		3月
新流通革命論	中央公論	春季号第14号	3月
景気対策をめぐる諸問題	静岡経済研究所経済月報	No. 37	4月

アジアの福祉開発における日本の役割 民主社会主義研究会編	5月
戦後日本経済演變的方向 中国と日本 No. 76	6月
日本経済分析と経済学 経済セミナー No. 121	6月
経済学の立場から経営学への助言 ビジネス	6月
国際分業に於る日本の位置 潮 夏季号	6月
東南アジア経済連合は可能か—その 経済発展と日本のアプローチ— 実業の日本 第69巻第14号	7月
競争の日本的性格 サンケイ・アド・マンズリー	9月
消費者物価論 マーケティング講座 第2巻第21章	9月
ヨーロッパの企業再編成に学ぶ 実業の日本 第69巻第23号	12月
ケース・スタディ「効率的集中 合併の条件」 東洋経済寡占特集号	12月
欧州における産業再編成 関西経済同友会委員会通報	12月
企業革新への道 生産性 1月号 昭和42年(1967)	1月
物価の値上りをどうみるか I D E 2月号	2月
ペイズの決定関数—選択理論の 最近における発展(2)— 経済論叢 第99巻第2号	2月
「持ち株会社」反対論に反論する 実業の日本 第70巻第5号	3月
Japanese Exports in the Nineteen-Fifties: Their Characteristics and Weaknesses <i>The Kyoto University Economic Review</i> Vol. 37, No. 1	4月
企業再編成を考える—経済学 と経営学の接点— 日本経済研究センター会報 No. 54	4月
成長なくして福祉なし 生産性 5月号	5月
持株会社構想と独禁政策、公正取引 第200号	5月
万国博覧会と日本経済 東洋経済 No. 3278	6月
二重構造の解消に伴う問題点 日本経済新聞社 私の日本経済論	6月
産業講座—寡占体制をどうみる べきか— 日本経済研究センター会報 No. 59	7月
拡大する静岡県の輸出規模とその 背景 静岡経済研究所経済月報 No. 54	8月
当面の景気動向と日本経済の課題 静岡経済研究所経済月報	8月
物の流れと資金の流れ 経済論叢 第100巻第3号	9月
アジアにおける経済発展と日米 両国の役割 日米関係民間会議録	9月

資本自由化と企業の前提	京 都 能 率 第 13 号	9 月
資本自由化と中小企業	第3回京都財界セミナー記録	9 月
資本自由化・再編成と独禁法	実 業 の 日 本 第70巻第20号	10月
ナショナリズムの出発点	潮 秋 季 号	10月
金融機関の再編成	朝日ジャーナル Vol. 9, No 42	10月
紳士服産業界再編成への提案	jamp Vol. 2, No. 5	10月
特恵関税と輸出補償金融制度の問題	貿 易 人 No. 1 7 5	10月
財政硬直化の根因とその打開策	経 済 セ ミ ナ ー No. 1 9 1	12月
高金利時代と日本の立場	朝日ジャーナル Vol. 9, No. 52	12月
現代の経済学 (1)一価格決定と市場の構造一	金融経済基礎コース No. 1 昭和43年(1968)	
資産選択の理論	経 論 済 叢 第101巻第1号	1 月
賃金上昇のなかでの経営施策	HR series No. 7 1	1 月
朝鮮動乱と高度成長	自 由 3 月 号	3 月
景気の先行きを考える	静岡経済研究所経済月報 No.61	3 月
ドルの将来と日本経済	東 洋 経 済 第 3395 号	3 月
経済成長と金融	金融経済講座 第1巻第1章	4 月
物価問題をどうとらえるか	貯 蓄 時 報 No. 7 6	7 月
経済環境の変化と銀行のあり方	協和銀行調査月報 No. 1 6 2	7 月
食管制度改革の方途	エコノミスト 第 4 6 巻	8 月
国際通貨不安の根拠は薄い	企 業 実 務 No. 1 0 3	9 月
外資進出と日本の国際競争力	企 業 実 務 No. 1 0 6	10月
アジア経済の諸問題	日本経済研究センター会報 No.91	11月
ニクソン登場と日本経済	企 業 実 務 No. 1 0 7	11月
戦線入り組む金融業界	政 経 秋 季 号	11月
ガルブレイスの産業国家論批判	国 民 講 座 第4巻第8章	12月
業界一致が望まれる繊維産業の近代化	東 洋 紡 サ ー ク ル 誌 昭和44年(1969)	1 月
昭和44年の経済景気はどう展開するか	企 業 実 務 No. 1 0 9	1 月
新日本製鉄の国際競争力	実 業 の 日 本 第72巻第6号	3 月
日本産業の展望一東洋紡績一	朝日ジャーナル Vol.111, No.20	5 月
資本自由化と産業再編成	Five Banks Review 第 12 号	7 月

連 載

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 競争と独占 (1)~(7) | 経営セミナー 1957.12—1958. 8 |
| 貨幣論 (1)~(6) | 経済セミナー 1958.10—1959. 3 |
| 経済講座 (1)~(3) | 株式短評 1962. 9—1964. 7 |
| ヨーロッパ通信 (1)~(5) | 静岡経済研究所経済月報 1967. 1—1967. 5 |
| 日本経済論 (1)~(10) | 経済セミナー 1963. 4—1964. 3 |
| 企業革新への道 (1)~(4) | 生産性 1967. 1—1967. 4 |
| やさしい経済学 | 日本経済新聞 |
| 歩積み・両建て預金 | |
| 二重構造の解消過程 | |
| 生産性上昇の道 | |
| 金利体系の自由化 | |
| 持ち株会社の提唱 | |
| 低開発国問題の一側面 | |
| 情報社会と企業 | |

書 評

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 倉林氏の資金配分計画について | 理論経済学 第8巻第3,4号 | 昭和33年(1958) 2月 |
| 飯田経夫「経済成長と二重構造」 | 理論経済学 | 昭和38年(1963) 9月 |
| 中山伊知郎編「経済事典」 | 京都新聞夕刊 | 昭和39年(1964) 5月 |
| 樋口午郎「銀行理論」 | 理論経済学 第15巻第1号 | 11月 |
| アメリカの挑戦 | 日本経済新聞 | 昭和43年(1968) 6月 |
| 都留重人「現代経済学」 | 日本経済新聞 | 昭和44年(1969) 7月 |

辞典類執筆

- | | |
|--------------|---------------------|
| 経済学大辞典 I—III | 東洋経済新報社 昭和30年(1955) |
| 経済学辞典 | 岩波書店 昭和40年(1965) |
| 体系金融大辞典 | 東洋経済社 昭和41年(1966) |
| 世界大百科事典 | 平凡社 昭和43年(1968) |

テープ講義

- | | |
|----------------|----------------|
| 資本自由化をどう考えるべきか | 昭和43年(1968)11月 |
|----------------|----------------|

資本自由化を自由に考えよう	12月
資本自由化一雇用と賃金一	昭和44年(1969)1月
なぜ国際通貨は揺れ動くかー強い通貨と弱い通貨ー	2月
先進国としての日本経済	2月
体質改善を急ぐ金融界 (1)ー銀行デパート論の是非ー	3月
体質改善を急ぐ金融界 (2)ーサービス業務の後進性ー	4月
日本経済の未来を考える	5月
企業進出と東南アジア(ワコール社長、塚本幸一との対談) ー国際化時代の経営者像 (3)ー	5月
産業の情報化	5月
「かけり論」の是非、国際高金利と日本	6月
100兆円経済への道(内田元亨との対談)ー実現可能な将来ー	6月
新しい景気循環の考え方	7月
未来を開発する経営(能村龍太郎との対談)ー新製品開発集団ー	7月

講演・対談

日本経済の変型期を分析する	経済セミナー	No. 7 3	昭和37年(1962)8月
株価はどう動く(鎌倉昇・三浦魁・ 西村永治郎・高岡達・川元幸雄)	京 都 新 聞		昭和38年(1963)4月
経済白書の論理と現実	経済セミナー	No. 9 8	昭和39年(1963)8月
日本の役割(鎌倉昇・猪木正道・ 石川忠雄・関嘉彦・山本登)	読 売 新 聞		昭和40年(1965)7月
過剰生産か需要不足か	経済セミナー	No. 11 0	8月
試練に立つ日本経済と政府の役割	ビ ジ ネ ス 新 年 特 大 号		昭和41年(1966)1月
成長企業の三つの条件(鎌倉昇・ 野田一夫)	中 央 公 論	第81巻第5号	5月
景気回復とこれからの企業 (鎌倉昇・占部郡美・熊取各武)	マネープラン新聞		7月
日本の外支に国民の総意を(鎌倉 昇・若泉敬・永井陽之助・石川忠雄)	毎 日 新 聞		昭和42年(1967)1月
寡占化と独禁法(鎌倉昇・脇村 義太郎)	エ コ ノ ミ ス ト		4月
実力主義経営と賃金(鎌倉昇・ 野田一夫)	中 央 公 論 夏 季 号		6月
自己資本の充実は必要か	日本経済研究センター会報	第60号	7月
資本自由化と日本的経営	東 洋 経 済	No. 3 3 5 5	7月

資本自由化時代の日本の経営	中央公論	秋季号	8月
40年代の日本経済と証券市場 (鎌倉昇・細金正人・藤野正三郎・松本和男)	マネープラン新聞		8月
来年の景気はどう動く	日本経済研究 センター会報	第69号	12月
金融再編成への方向づけ	財政金融ジャーナル		昭和43年(1968)1月
最近の経済情勢と金融機関の課題	屋	根	3月
金問題と国際通貨体制(鎌倉昇・ 松村善太郎・渡辺太郎・建元正弘)	中央公論	第83巻第5号	5月
国際収支はいつ改善するか(鎌倉昇・ 栄戸寿雄・武村忠雄・西野知彦)	静岡経済研究所経済月報	No. 63	5月
新しい証券市場を探る	日本経済研究センター	第81号	6月
強まらぬ不況感ノ 国際収支の改善は早い (鎌倉昇・吉野俊彦・宮崎勇・西野知彦)	信用金庫	第22巻第7号	7月
産業シンポジウム—繁栄への道 集約と多様化— (鎌倉昇・柳川正三・有田圓二・吉岡政幸)	日本経済新聞		8月
イザナギ景気と国民生活	公明新聞		11月
新年の景気はどう動く(鎌倉昇・ 宮崎勇・山田亮三・西野知彦)	静岡経済研究所経済月報	No. 70	12月
大阪経済100年の歩みから(鎌倉昇・ 市川忍・阿部孝次郎)	Chamber	第210号	12月
中小企業と未来学(鎌倉昇・小松左京)	経営者会報	第11巻 第1号	昭和44年(1969)1月
新時代を迎えた株式市場の基盤と展望	株式新聞		6月

(作成者：鎌倉ゼミナール生一同)